

2019年6月17日 校長 高倉 満

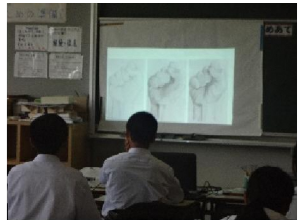
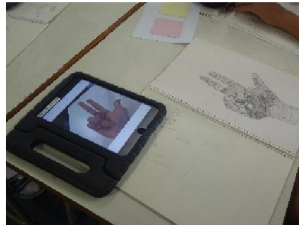
6月11日(火)鳥先生が授業研を行いました。

(教育センターの授業力改善研・初任研師範授業)

□デッサンの基礎を生かして自分なりに仕上げた作品を鑑賞しあい、表現から受ける印象などを付箋で伝え合う。そして、自他の表現の良さに気づき、主題に迫る表現の工夫を考える内容でした。ICTの活用では書画カメラ、プロジェクターを効果的に使っていました。教育センターから矢野副所長、高橋指導主事、吉井中から初任者の豊福先生、御幸小の出田先生(拠点校指導教員)が参観されました。

- ① 導入では鳥先生が描いた三枚の絵を比べて、その違いを確認しながらめあてをつかむ。
- ② 生徒はタブレットで撮影した自分の画像とデッサンした手をお互いに干渉し合い、付箋に表現の工夫で気づいた点や感想を書いて貼る活動をグループと全体で行った。

*生徒は鳥先生の指示を聴き、しっかりと活動していた。付箋に書く活動、グループで意見を交流し合う場面が設定されていて、ICTを活用した協働学習が



仕組まれた授業でした。でも反省する課題はたくさんありました。反省会で出されたことは、○生徒の授業態度は大変良かったが、もっと元気があれば良かった。

○めあての「主題にせまる」ことができたのか。主題にせまる工夫は適切だったのか。生徒は主題が理解できていたのか。

○板書はどうだったのか。学習の流れが分かるものだったのか。(構造的なものだったか)

○活動の生徒への指示はどうだったのか。(指示が多く、しゃべり過ぎでは)

○子どもの感想の出し方は適切だったのか。(お互いの良さを褒め合い友だちを繋ぐ活動)自分の良さを言ってもらうことで生まれる自己存在感の大切さ。

○授業を通した生徒指導ができる土壌がある。だからこそ指示や言葉に気をつけて欲しい。

○机間巡視中の話しが多すぎる。(独り言に感じる) 指示なら作業を止めて全体へ。

全国軟式野球連盟大会 福岡県大会 3位(大健闘!中体連へこの勢いをつなげよう)



全国軟式野球連盟大会で野球部が大活躍です。

北筑後大会では決勝で三国中に敗れ2位でしたが、県大会では強豪を撃破しての快進撃でベスト4に進出。

準決勝を16日(日)応援に行きました。相手は遠賀南中でした。初回に1点を先取されましたが、それ以降は投手戦でした。浮羽中は高浪君、中嶋君と2年生での投手リレーで、よく相手の攻撃を押さえました。結果は遠賀南1-0浮羽中で、本当にあと一歩でした。保護者を含めたくさんの方が応援に駆けつけていました。この悔しさを次の中体連にぶつけよう。